

平成19年度第3回北海道ブロック協議会 第3回北海道代協常任理事会

議 事 録

平成19年10月23日(火)pm 1:00~5:00

於：北海道厚生年金会館

出席者

本部副会長	福澤 久	福島	常任理事	町野 泰明	札幌	企画環境	高橋 章哲	旭川
本部常任理事	高梨 重勝	函館	常任理事	廣瀬 禎	室蘭	政治連盟	梅基 伸男	札幌
会長	向出 明彦	札幌	常任理事	森 優	旭川	監事	富谷 哲夫	札幌
副会長	長谷部幹夫	旭川	常任理事	鈴木 雅裕	小樽	監事	木下 裕章	小樽
副会長	阿部 實	札幌	常任理事代理	佐藤 聖	苫小牧	札幌副支部長	見上 峰夫	札幌
副会長	石岡 憲義	函館	常任理事	多和 康司	千歳	札幌副支部長	佐々木雅之	札幌
副会長	長谷川 勇	帯広	常任理事	松浦 則雄	函館	事務局長	末原 正二	札幌
副会長	長尾 忠正	釧路	常任理事	松野 裕一	釧路	事務局員	藤田 和代	札幌
専務理事	山口 史朗	札幌	組織	伊藤 輝雄	函館			

司 会 専務理事 山口史朗

1. 開会の辞(長谷部幹夫)
2. 会長挨拶(向出明彦)
3. 日本代協副会長挨拶(福澤 久)
4. 日本代協常任理事挨拶(高梨重勝)
5. 倫理綱領の朗読(町野泰明)
6. 議長選出

議長には長尾忠正副会長(釧路)が指名され、承認を得た。

7. 議 事

[1] 報告事項

1、各支部報告(会議資料参照)

補足事項

札幌支部

- 1 青年部会をより活性化させるためにも、2・3の支部で設立されている部会の合同集会を開催したらどうかの提案があった。

室蘭支部

- 1 会員増強をテーマとして、幹事会を開催している。

旭川支部

- 1 新聞広告の掲載、消費者協会を講師にセミナーを予定している。

小樽支部

- ①「環境クラブ」団体に協賛し、地域ボランティアを予定している。

苫小牧支部

- 1 写真入の広告を出す予定である。
- 2 「郵政民営化に対処して」のセミナーを開催した。

千歳支部

- ①「建物の構造と評価」のテーマでセミナーを開催した。
- ② 消費者協会との懇談、タオルボランティア活動を予定している。

函館支部

- 1 道新にカラー写真入り広告を掲載した。
- 2 医療に関するセミナー、消費者協会との懇談会、タオルボランティア活動を予定している。

釧路支部

- 1 支部セミナーでは、各保険会社にチラシ、チケットを配り参加者の拡大を図った。111名の参加と大成功であった。
- 2 道新広告を出す。

帯広支部

- ① 新聞広告の掲載を予定している。

2、日本代協理事会報告(向出明彦) 10月11・12日

「日本代協ニュース第206号」参照 以下補足

- 1 本部会費の早期納入
- 2 地震保険の普及啓蒙活動の推進
- 3 「無保険バイク追放キャンペーン」については北海道という地域性を考慮して欲しいとの要請をした。
- 4 「国民年金基金」の加入促進については青年部の協力を得る。

3、日本代協常任理事会報告(高梨重勝)

「日本代協ニュース第206号」参照 以下補足

- 1 正会員増強については「代理店賠償」加入をアピールして促進して欲しい。
- 2 「活力ある代理店研究会」第1回の会合が開催された。
- 3 「乗り合い代理店」への移行についての諸問題
- 4 「意向確認書」の簡素化

4、日本代協副会長(福澤 久)

- ①「保険法の見直し」において イ、解かりやすい、適切な手数料評価基準の作成 ロ、能力、挙績以外の項目について評価することには疑問(独禁法、優先的地位の乱用の観点から)が残る。
- ② 法人化に向けて、20年度の単協総会においては設立への協議に全力で取り組んで欲しい。

5、日本代協委員報告

(I) 企画環境委員会(高橋章哲)

資料参照

(II) 教育委員会(事務局)

資料参照

(III) 組織委員会(伊藤輝雄)

後の会員増強審議にて

(IV) 政治連盟(梅基伸男)

- 1 各単協への割り当て会費に疑問は残る。
- 2 会費早期の納入を要請

(V) 地球環境委員会

特に無し



【2】 審議事項

1、会員増強キャンペーンについて

- 1 賠償の使用例については本部での閲覧しかない。
- 2 代理店との接点が増える1月～3月までを増強月間とする。
- 3 各支部の取り組みについて
 - 札幌支部— イ、退会者の早期情報を得て、説得する。
ロ、青年部からの紹介を期待している。
 - 室蘭支部— イ、支社の移転、地域業の衰退の状況で会員が増えていないが、二世代理店に勧誘している。また、保険会社にも声かけしている。
 - 旭川支部— イ、合併が進み思うように会員が集まらない。
 - 小樽支部— イ、合併して後、代理店賠償の必要性にて、入会してきた会員もいる。
 - 苫小牧支部— イ、廃業による会員減少があるが、各保険会社に訪問して会員になる代理店を紹介してもらっている。
 - 千歳支部— イ、会員の退会もあるが、半面復帰してきた会員もいる。
ロ、保険会社と座談会の場を設ける。
 - 函館支部— イ、若い代理店に積極的に勧誘している。
ロ、幹事会にはオープンの参加を呼びかけている。
ハ、頼りになる会員に強く会員の紹介をお願いしている。
 - 釧路支部— イ、代理店賠償をツールとして勧誘している。
ロ、支部の存在をアピールする為、旗を作ったり、新聞広告の掲載等の活動をしている。
ハ、金のありそうな代理店を勧誘している。
ニ、函館、松浦氏より、富士火災の代理店7名の紹介があった。
 - 帯広支部— イ、目標達成に努力する。

2、一般社団法人設立について

- 長谷部設立準備委員長より経過の報告があった。
- 財務に関する委員会を設ける提案が出され、準備委員会の元、諮問小委員会の設立が承認され委員長に山口史朗氏(札幌)が選任された。

3、日本代協認定保険代理士会の設立について

- 認定保険代理士会の設立について提案があり承認された。
- 設立準備委員に石岡氏を。各支部より1名選出。
- 年1回の会合を持ち意見を持ち寄る。

4、公開講座開催の件

- 場所は札幌にて、準備については札幌圏役員に一任。

【3】 その他

- 1、銀行の窓販モニタリングについて本部にては101件の情報(抱き合わせ、圧力)があった。
- 2、郵便局の保険販売についてもモニタリングを実施している。
- 3、北海道代協の会議において、会議資料は事前にメールで送り、各自プリントアウトして持参していただくよう、お願いしたい。
- 4、「保険情報」の購読をお願いしたい。

8. 閉会の辞(長谷川勇)